

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

## 【特徴(強み)】

官民協働・多職種構成による「精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会」を設置しており、多角的視点を持ってシステム構築に取り組めること。

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院入院患者在院日数が全国平均を上回っている。</li> <li>・精神障がい者の継続的な地域生活を支えるための支援が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポーターによる普及啓発活動を継続し、長期入院者の意欲向上、家族や病院関係者の精神障害の理解の促進を図る。</li> <li>・地域における精神障がい者の受入れ体制を整備する一環として、地域移行の核となる人材を育成するための研修会を実施し、地域包括ケアシステム構築の推進や課題の共有化を図る。</li> <li>・多職種チームによるアウトリーチ支援等の実施を目指し、精神疾患の症状に応じた適切な医療を提供することで入院治療だけに頼らず地域全体で精神障がい者の地域生活を支える体制の構築を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発活動として、精神科病院の患者を対象に開催ができ、地域生活への意向の意欲を高めることができた。</li> <li>・人材育成のための研修会を実施し、支援者の精神障害への理解を深めたり、現状の課題の共有を図り、それに対する解決策の検討をすることができた。</li> </ul>
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①地域移行・地域定着支援研修会の参加者数	90人	100人	12月に開催をし、目標値には満たなかった
②関係機関連絡会運営会議の開催回数	10回	12回	企画内容の多角化を目指し、会議を開催できた

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。